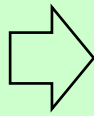


「くにびきキャベツ」の大規模生産、伝統野菜「津田かぶ」の継承 ～野津一修～

経営体の概要

就農・入植時：平成15年度
基幹作物：葉たばこ
経営面積：0.6ha



入植後：令和元年度
基幹作物：キャベツ、ブロッコリー、
津田かぶ
経営面積：8.7ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

野津氏は、平成14年に松江市の農地（地区外）で就農準備を行い、平成15年度より就農。同時に中海地区（昭和63年度に完了した国営干拓事業「中海地区」揖屋工区（松江市））へ入植。平成17年に父から干拓地の農業経営の移譲（3.0ha）を受け当時計5.0haを経営。中海地区は、かん水施設・農道などの生産施設が整備されているとともに、集約された農地で大規模経営が可能であるなど、干拓事業ならではのメリットを有効に活用し、就農時の0.6haから、現在の約9haまで経営規模の拡大を進め、キャベツをはじめとする大規模な露地野菜生産に取り組んでいる。また、農業用水が安定しており、適時に散水できることから、真夏でも安心して定植用水として有効活用し、収益力向上を実現するなど、事業効果を大いに発現している。

営農改善のポイント

①作物の変化

入植前は、葉たばこを栽培していたが、本地域は「くにびきキャベツ」としてブランドが確立している大規模な産地であることから、入植当初から新たにキャベツを導入し、大規模生産に取り組んでいる。平成17年に経営を引き継ぐとともに地域の伝統野菜である津田かぶの継承にも取り組んでいる。



キャベツの栽培



津田かぶの栽培

②流通・販売の工夫

「くにびきキャベツ」は、JAキャベツ部会として島根県独自のGAPである「美味（おい）しまね認証」を受けるなど、当経営体も含めて安全の確保と信頼の醸成に取り組んでおり、生産物はJAを通じて主に大阪市中央卸売市場などに出荷している。

③担い手の育成・確保

島根県研修受入認定農家として、農業研修を通して新規就農を支援するなど、中海地区の担い手育成に取り組んでいる。



散水施設

事業概要

事業種：国営干拓事業「中海地区」
関係市町：鳥取県米子市、境港市、島根県松江市、
安来市
受益面積：485ha
事業期間：昭和38～平成25年度
事業目的：干拓
主要工事：貯水池 2箇所、用水路 53.8km、
排水路 2.6km、道路 19.1km

位置図（鳥取県・島根県）



<局問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農地整備課
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(令和元年度調査時点)